

第2次健康づくり計画中間評価(素案) パブリックコメント結果

○意見書提出期間: 令和3年12月22日(水)～令和4年1月21日(金)

○意見の件数: 2個人、3件

番号	意見の概要	市の考え方	計画書への反映
1	<p>高齢者世帯が多くなり、がん検診と特定健康診査に行くことが大変になってきています。検診は、高齢者が受診しやすい場所、時間等を考えて進めてほしいと思います。</p>	<p>これまで、各地域のコミュニティセンター、るもい健康の駅などでの検診会場の設定、希望の日程で受診できるよう年3回の集団検診の他、医療機関での個別検診の設定など、受診しやすい環境づくりに努めてまいりました。</p> <p>昨年度より、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、拡大防止策として、会場の調整、集団検診の中止など、市民の方には不便をおかけしているところもありますが、今後も市民の方の受診状況を把握、分析しながら、より受診しやすい環境づくりに努めてまいりたいと考えており、計画の中の今後の方策にも、行政の取り組みとして、「健診体制の充実」を挙げております。</p>	<p>P19、「行政の取り組み」の「健診(検診)体制の充実」に取り組み内容を記載済み。</p>
2	<p>独居や近くに友人がいない、話し相手がない方も増えているため、ストレスや悩みを気軽に相談できる体制の充実を図ることが今後大事なことになると思います。</p>	<p>市民のこころの健康づくりのため、これまで、相談窓口の周知、広報るもいによる健康コラムの掲載、健康相談や講演会の実施、乳幼児健診の充実など、さまざまな取り組みを行ってきました。令和2年度からは、市民を対象にゲートキーパー養成研修会を実施し、地域で悩みを抱えている方に気づいて声をかけ、相談にのれる方を地域に増やしてく予定です。</p> <p>計画では、「休養・こころの健康」の分野の今後の方策に、今後の取り組みについて記載しておりますが、ゲートキーパー養成研修会の実施について追加し、悩みなどを気軽に相談できる体制作りの充実にも努めていきたいと考えております。</p>	<p>P43、「行政の取り組み」の「休養・こころの健康づくりの推進」に、「ゲートキーパー養成研修会を実施します。」を追加</p>
3	<p>以前、地域包括支援センターで高齢者の方の口腔衛生指導があったと思いますが、もっと早く指導を受けたかったと話していた方もいました。高校の歯科健診を最後に成人歯科の検診がないため、その改善策は何かお考えでしょうか。</p> <p>働いている方は、なかなか歯科検診を受診する時間が取れなかったり、無料検診のつもりで行ったのに、治療が始まり料金が発生した方もいたようです。検診に行けないのなら、市から企業に出向くなど何か方法はありますか？</p>	<p>これまでは、健康相談、広報るもいによる健康コラムの掲載などで北海道の8020運動の普及・啓発、事業所などの依頼健康教育など、歯や口腔の健康について取り組みを行ってまいりました。今後も歯や口腔の健康について、市民の方へ正しい知識を普及していきますが、事業所への健康教育を強化し、検診の重要性を含め、個々が歯や口腔の健康について関心を持ち、管理できるよう対策に努めたいと考えております。</p> <p>また、令和3年度より、後期高齢者歯科健康診査が開始となりましたが、将来的に成人期の歯科健康診査も視野に入れながら、対象の拡大については検討が必要と考えております。</p>	<p>P33、「行政の取り組み」の「歯と口腔に関する健康情報の普及・啓発」の「広報るもい等で、北海道の8020運動について普及・啓発します。」を「広報るもい、事業所の健康教育等で、北海道の8020運動について普及・啓発します。」に変更します。</p>